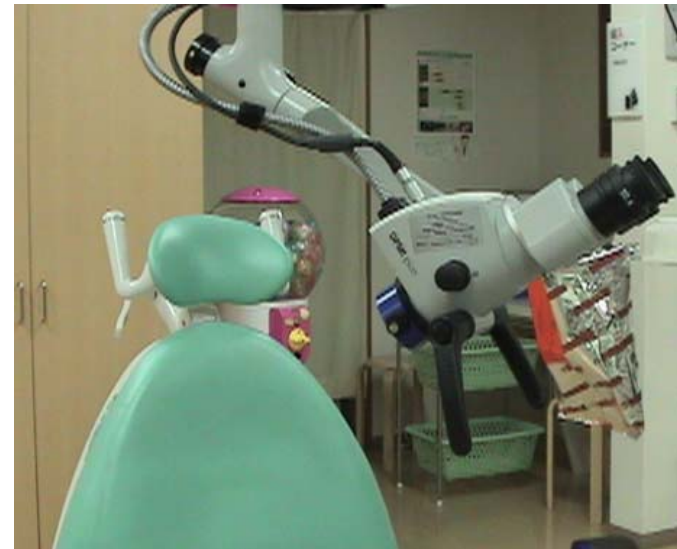


当院でおこなっている 小児鼓膜換気チューブ留置術の 工夫 と 実績



おひさま耳鼻咽喉科
五十嵐 良和

2013年3月12日
第34回上越耳鼻科臨床検討会
(久比岐会)

はじめに

- 開業医としての日常診療で**幼小児の難治性中耳炎・再発性中耳炎症例がとても多い**ことを実感。
- 鼓膜換気チューブ留置が中耳炎の解消に有効だが、**幼小児への外来での手術処置には安全面で不安**があった。
- 留置しやすい**スターチューブ**、**チューブ挿入鉗子の導入**、さらに**患者固定の工夫**により、昨年秋から幼小児への鼓膜換気チューブ留置**件数が増加傾向**にある。
- 今回、上記の工夫を、6才以下の鼓膜換気チューブ留置術の実績とともにご報告する。

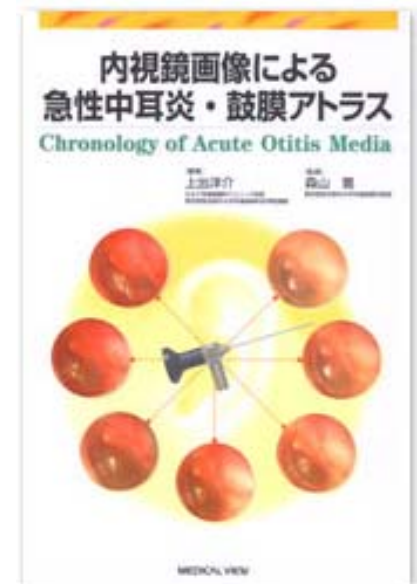
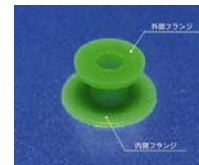
幼小児への鼓膜換気チューブ留置術 当院における変遷

開院当初 全症例 病院へ手術依頼していた

幼小児の難治性中耳炎に**スプリットドレーン**
チューブが有効との記事を見付け
H22年6月 手術開始(6例10件施行)



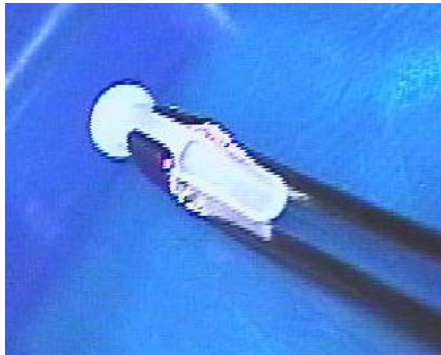
スプリットドレーンがすぐに抜けたため
H22年11月 長期留置型高研B型を導入
(8例9件施行)



H23年6月 高研チューブ自主回収 代用品としてスターチューブ納入
H23年12月 スターチューブ使用開始
H24年12月 チューブ挿入鉗子導入
(22例39件施行)



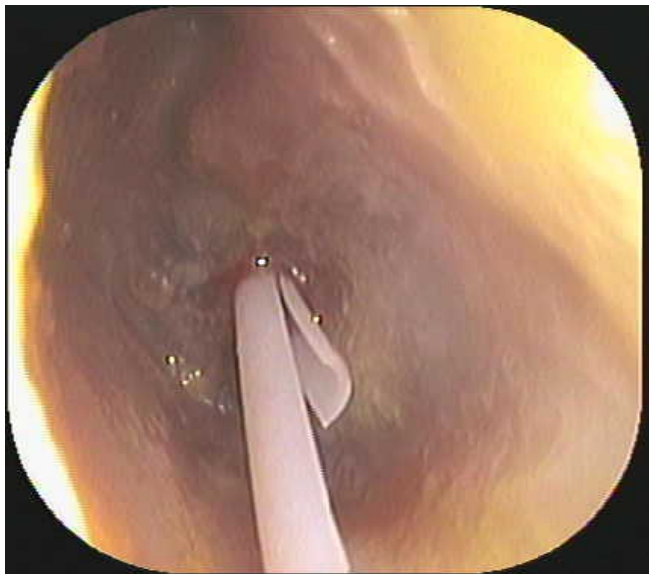
スプリットドレーンチューブ (フオイヤースタイン)と チューブ挿入ピンセット



●Tチューブ挿入ピンセット



※ Tチューブの他、フオイヤースタインドレンチューブや、パイプ形状のドレンチューブにも使用できます。



外耳道の狭い幼小児でも挿入できたが
短期間にすぐ抜けた
長いチューブの違和感も課題



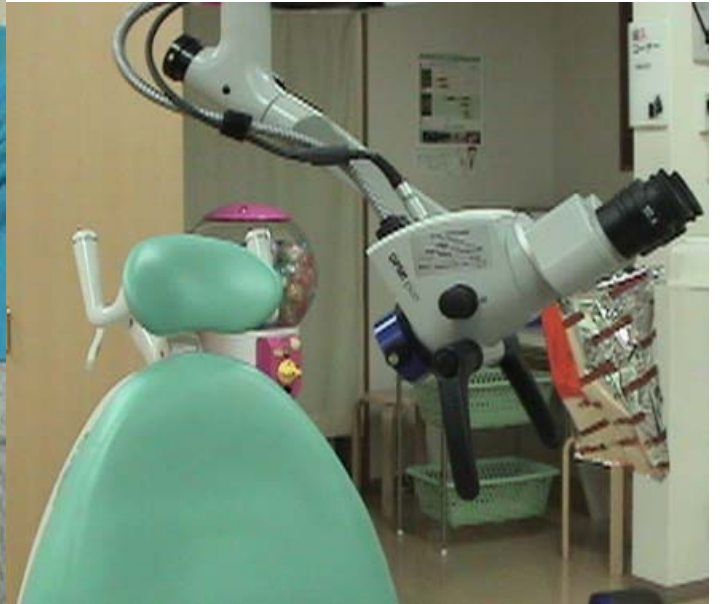
ティンポベント スターチューブと ショートチューブ挿入鉗子



スプリットドレーンチューブと同様
鼓膜切開が可能であれば
外耳道の狭い症例でも留置可能

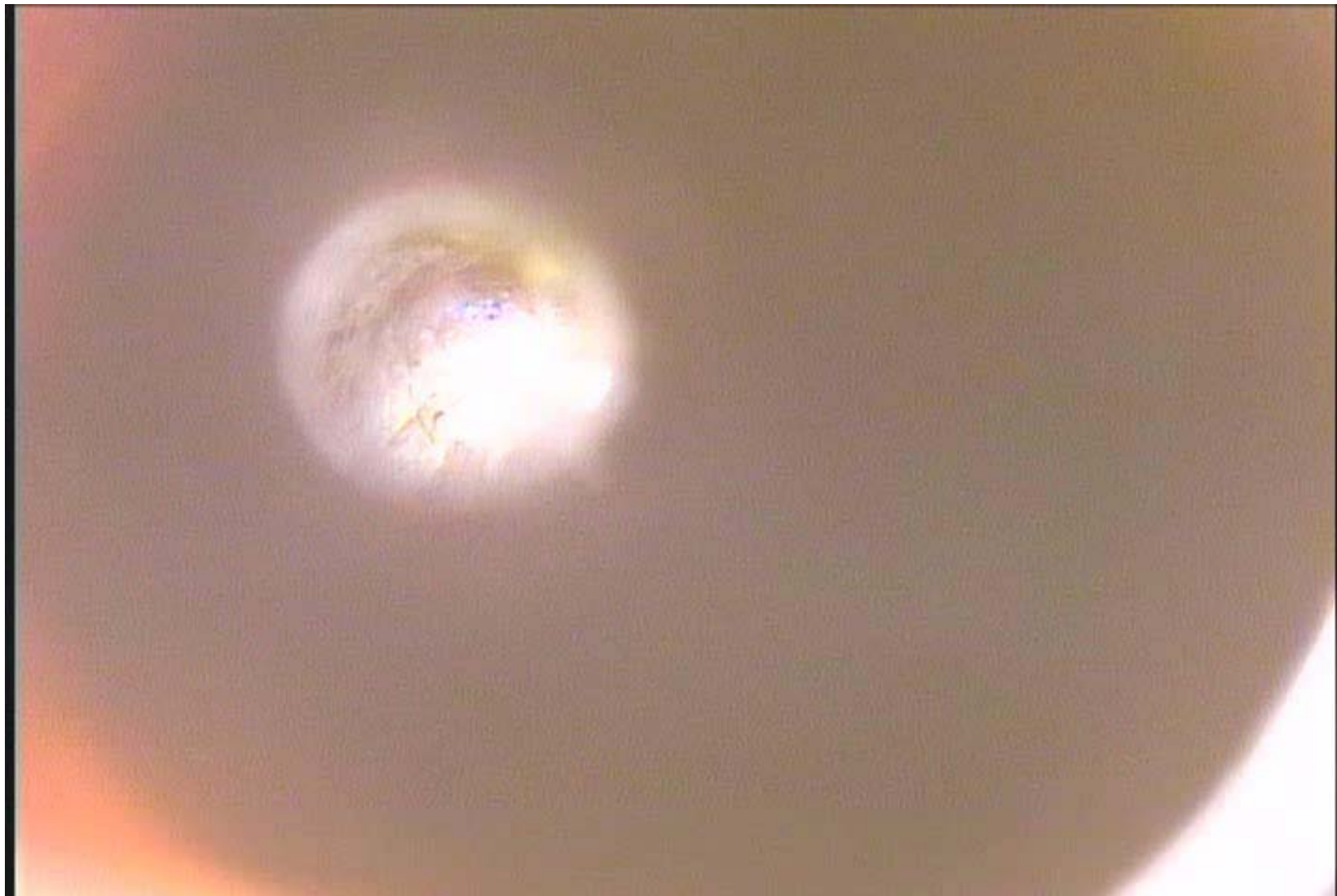


固定の工夫



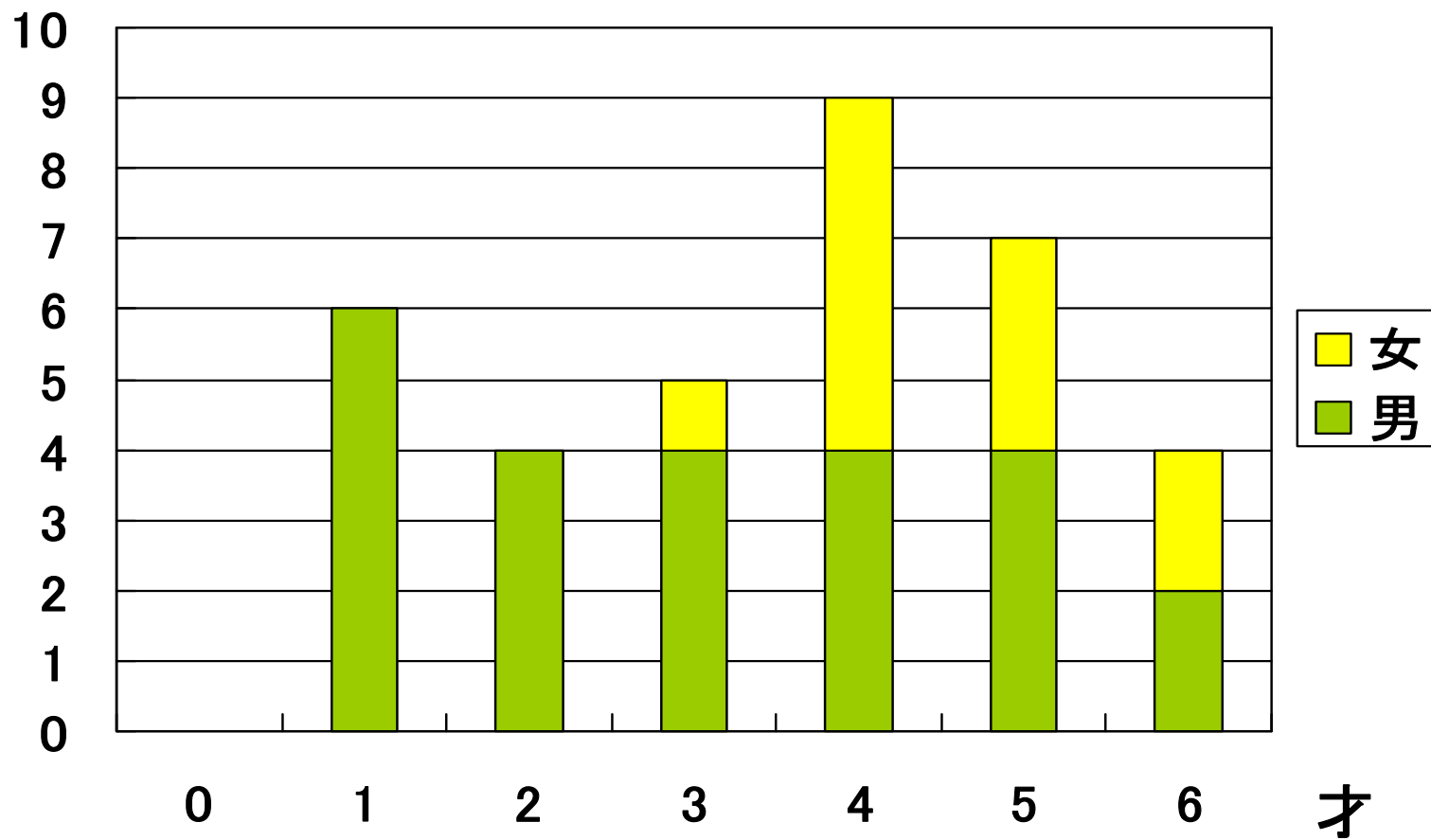
手足と身体を毛布でミノムシ状に包み、その上から抱っこすると動きの大きい小児でも安定

スターチューブ留置の動画

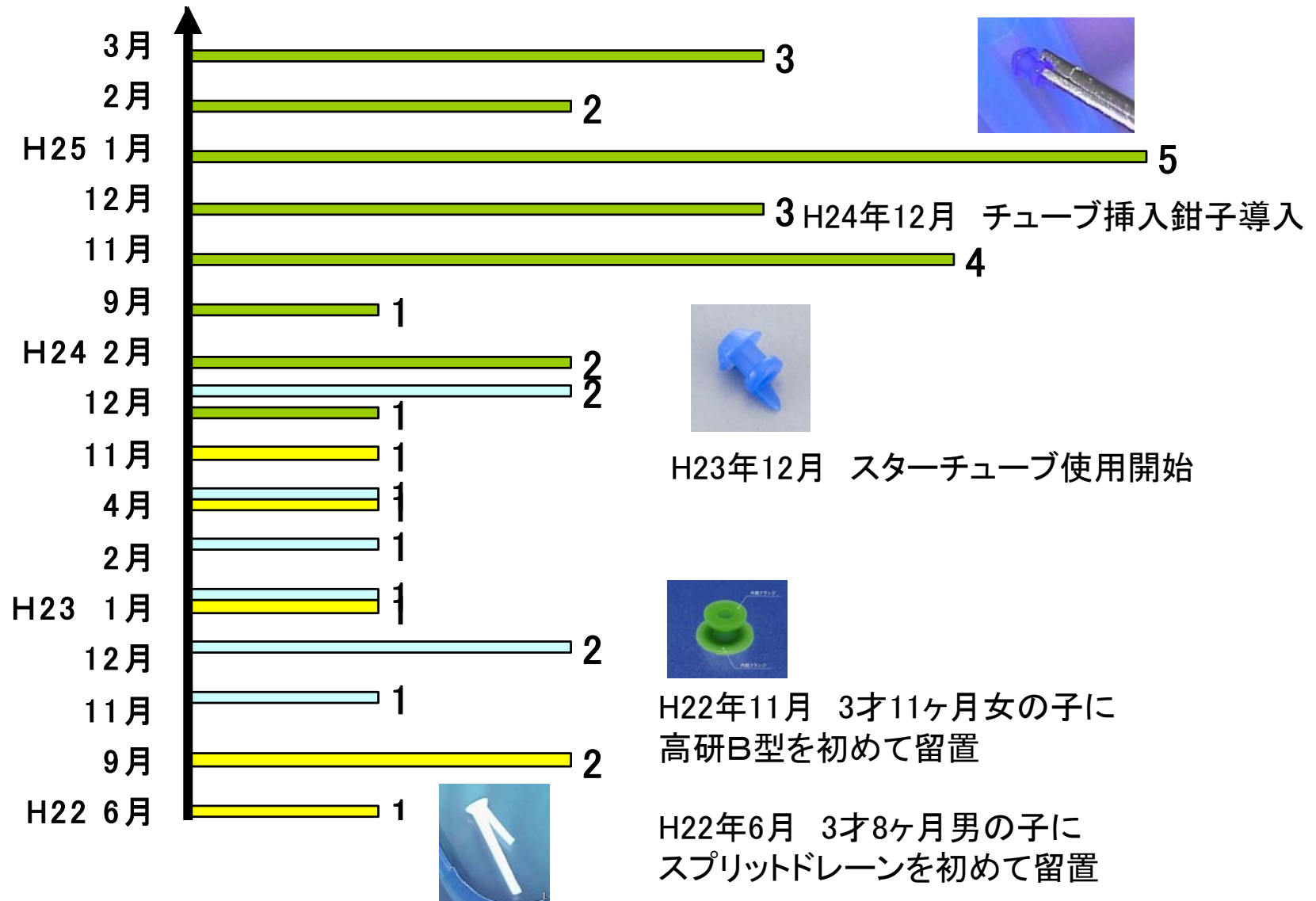


年齢別 症例数

例

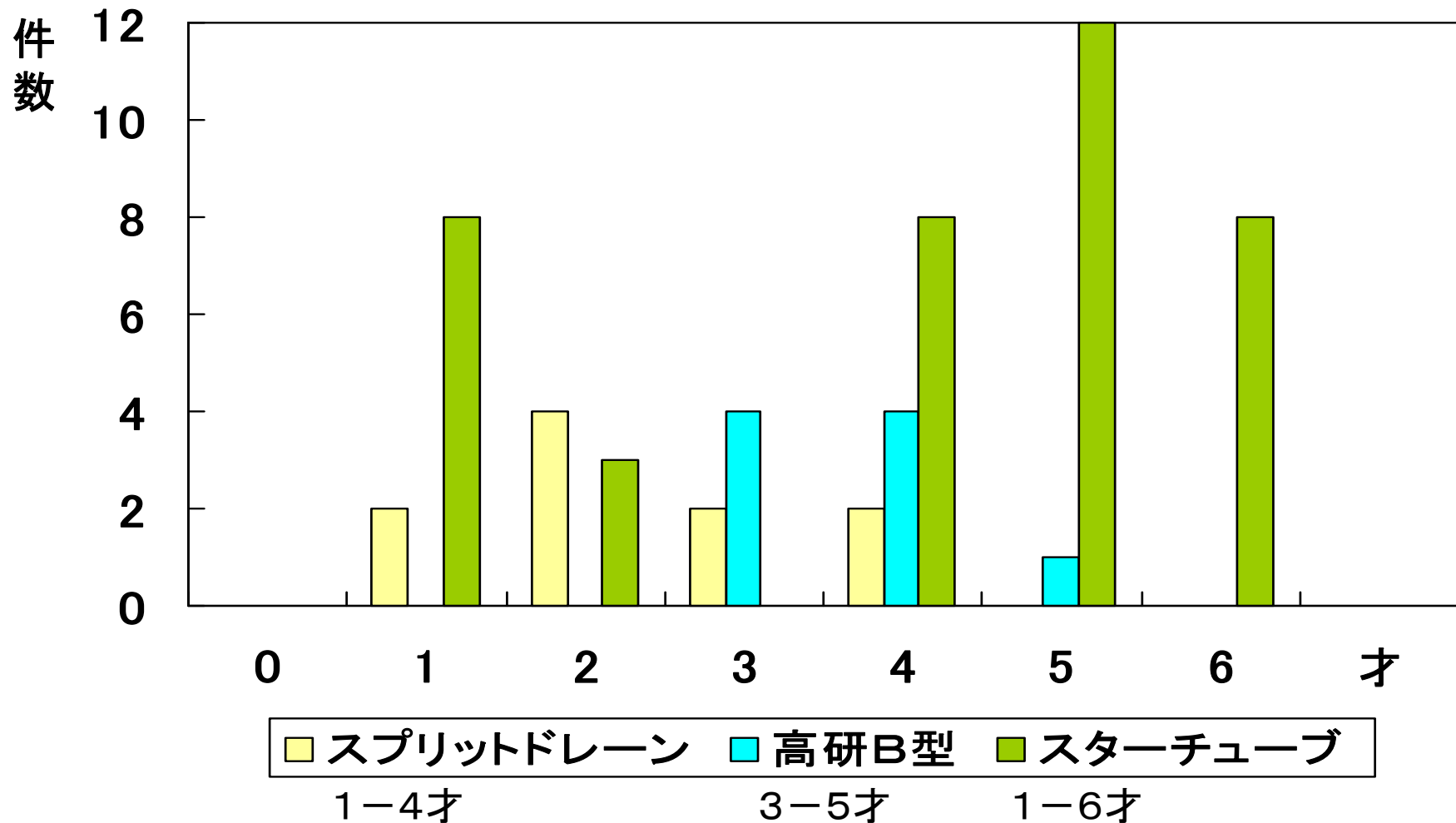


施行症例数とイベント



年齢別 使用チューブ

(片側＝1件 両側＝2件)



スプリットチューブ留置後の経過

すべて離脱

1ヶ月 1例 2件

2ヶ月 1例 1件

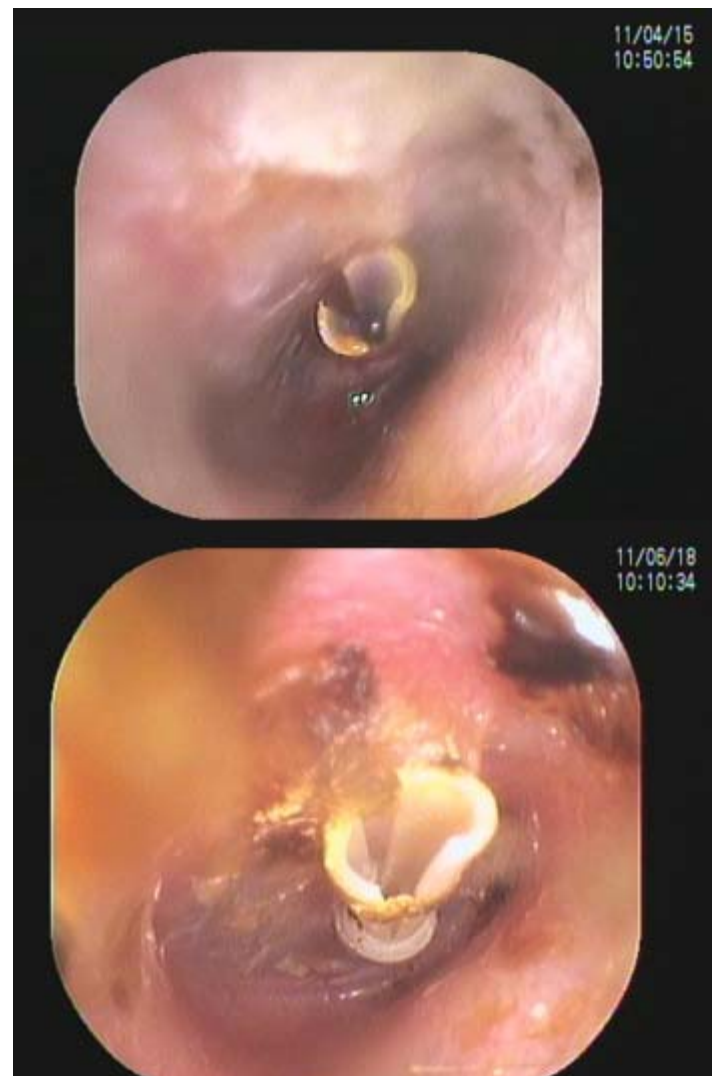
3ヶ月 2例 4件

(同一症例両側)

5ヶ月 2例 3件

短期留置型の名称通り

平均3.1ヶ月で離脱



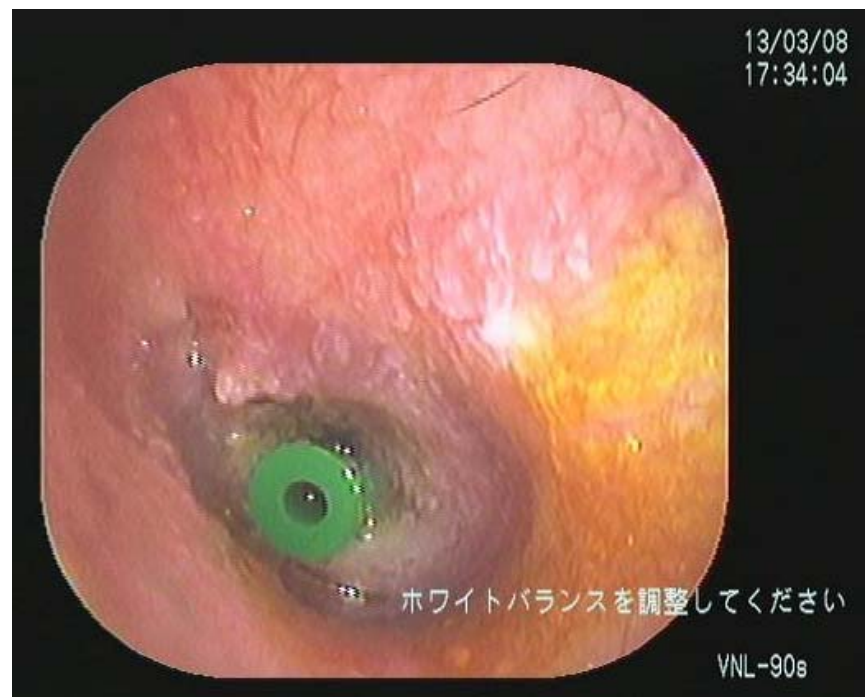
高研B型チューブ留置後の経過

離脱

7ヶ月	1例	1件
8ヶ月	1例	1件
1年	1例	1件
1年8ヶ月	1例	1件

留置中

1年2ヶ月	3例	3件
1年10ヶ月	1例	1件
2年2ヶ月	1例	1件



長期留置型の名称通り 6ヶ月以上維持できていた

留置チューブの施行側と回数

	両側	片側
スプリットチューブ	4	2
高研	1	7
スターチューブ	17	5
合計	22	14

複数回施行		6症例		
初回	2回目		現在の状態	
スプリット	→ スプリット		チューブ離脱	未治癒
スプリット	→ 高研		チューブ離脱	未治癒
スプリット	→ スター		留置中	
スプリット	→ 高研		留置中	
スター	→ スター		留置中	
高研	→ 高研		留置中	

スターチューブ留置後の経過

離脱

1ヶ月	1例	2件
2ヶ月	1例	1件
10ヶ月以内	1例	2件

留置中

1ヶ月	4例	7件
2ヶ月	5例	9件
3ヶ月	3例	6件
4ヶ月	4例	6件
5ヶ月	1例	2件
1年1ヶ月	1例	2件
1年2ヶ月	1例	2件



早期離脱もあるが
スプリットチューブより長持ち

1ヶ月での早期スターチューブ離脱例



術後、点耳薬の使用をいやがり
チューブ周囲に付着した凝血が除去できなかったため
凝血とともにチューブ排出
止血と術後メンテナンスをちゃんとおこなえるかどうかが重要？

まとめ

- 四肢体幹を毛布でくるむことにより、患児の身体の固定が容易かつ確実となった。
- スターチューブとチューブ留置専用鉗子を用いることにより、外耳道の狭い幼小児に対する手術操作が容易となった。
- 上記の工夫により難治性中耳炎症例に対する鼓膜換気チューブ留置件数が増加している。
- チューブの早期離脱を防ぐためには、止血と術後のメンテナンス（保護者の協力）が重要と思われた。